

涸沢～穂高池～南岳縦走

【山城】北アルプス南部 【ルート】上高地～涸沢～穂高池～南岳～上高地 【登山方法】一部バリエーションテント縦走 【期間】9/28～30 【メンバー】吉川単独

【内容】9/28 夜発中央道経由沢渡あずさ駐車場仮眠

9/29（晴れ）タクシーにて上高地入り 6:30－横尾 9:20－涸沢 12:10 テント泊

駐車場のゲートを出るとすぐタクシーの運転手に誘導されるようにタクシーに乗り込む。手際の良いことに驚いたが、おかげさまで上高地バスターミナルに早く到着できた。ひんやりした空気はとても気持ちが良い。横尾まで来ると陽も高くなり暑くなってきた。黄色に色づいたカツラの葉が甘い香りを放っている。ここで一休みして横尾谷に入る。横尾本谷左俣から穂高池に行けるらしいが、単独で沢は詰められないので、涸沢から穂高池を目指す事にした。高度を増すごとに素晴らしい紅葉が目映る。紅色のナナカマドが目立ってくると、涸沢カールに到着。



### 北穂高沢

ンが大勢！と言うか殆んどがカメラマンのようであった。月が涸沢を照らし始めると、前穂の岩峰が、カールに影を写し穂高の山々が浮かび上がる。S氏に涸沢池もあるんだよ！っと、聞いていたので池さがしをした。涸沢小屋の灯りがゆらゆら揺れている。奥穂、北穂の小屋の灯りも水面に映っているではないか！涸沢池を見つけた。何やら、不思議な世界にいるようで明日の北穂池めぐりが無かったらこのままずーとこの雰囲気浸っていたかった。

テントの受付は、13時からという事で、ザイテングラート方面に散策後テントを張っていると、一足先に涸沢入りしていたS氏が、私を見つけてくれ、お会いできとても嬉しかった。ずっしり重いカメラを覗かせていただきその素晴らしい事！感激した。スーパームーンの今晚、カールに浮かび上がる陰しい岩峰のシャッターを切る準備で、三脚をあちこちに据えて待つカメラマ



北穂高沢より前穂北尾根

9/30(曇りのち晴れのちガス午後から強風) 涸沢小屋 6:10—東稜稜線上 7:20—北穂池 9:35  
—A 沢ノコル 12:05—南小屋テント場 14:40 泊



近いようで遠い北穂の池

南陵登山口より、一般道を進み、2700m付近で大きく南陵へと左折するところで、登山道を離れ、北穂沢をトラバースし東稜のコルを越す。2814mのピークは、すぐわかったが、草原上のどこを下るか？当然ながら踏み跡はなし、現在地の北側に沢型地形になっているので覗きに行ってみる。断崖状の崩壊した沢で危険だったので、最初に立った草付きの沢を下る。左下方に池を見ながら、歩きやすい所を拾っているうちかすかな踏み跡を見つけ下降する。先ほど

覗いた危険な沢に降り立ち、少し下つては、左へと繰り返し、藪を避け左寄りのガレバを池の方に修正しながら下る。この辺りで正面に南岳から大キレットを望む。一ノ池には、草紅葉やナナカマドの紅葉と北穂岳が映し出され絵葉書のように！



下ったルートを見上げる

大休止後、東方向から次の池を探そうと思ったが、藪に入りそうになり元に戻って、北側草付から鞍部にのぼり、残りの池めぐりをする。荒々しい岩峰の下部に台地を形成し、ミニ草原に池や池塘が点在するメルヘンチックな景色はとても不思議な感じ！去りがたくゆっくりお茶タイム、至福の時間である。池めぐりにだいぶ時間を費やしてしまった。北穂北壁に向かって、急斜面で不安定なガレ場を詰めあげる。



正面の大キレットと左上しつ奥のザレへ

枯れたイタドリのガレ場はいくらか歩きやすい。A 沢ノコル手前には、斜面にそって縦に、灌木やハイマツの帯が走っている。突破口を見つけなければならない。ゆっくり足を進めながら探す。そして、ハイマツから灌木に変わる辺りに、白いテープのようなものを発見！現在地より上部に向かう。その目印からかすかな踏み跡を辿り灌木を

くぐり登っていく、登りすぎではないかと不安になり始めると目の前に A 沢ノコルが見えた。



中央が A 沢ノコル

このトラバースは、雪崩そうな急斜面なので、もう少し上まで登り、最短距離でコル手前の草付きから A 沢ノコルに辿り着く。ほっと一息付きたいところだが、稜線は、北からの風が強く、ガスもキレットを越えて長野県側に流れ込んでいる。

足場、鎖、ペンキマークと決められたルートを辿り南岳を目指す。途中で長谷川ピークを越した辺りに、容易に詰めあげられる場所を見つけた。また来る機会があったら

このルートもありかな？大キレットは、岐阜側のルートが多く益々北風にあおられ体力の消耗を感じる。獅子鼻岩鬼の手前で温かいスープを飲んで、もうひと踏ん張り！最後の梯子、岩登りをこなして南岳テント場にようやく着いた。池めぐりでは、だれ一人合わなかったが、登山道に復帰してからは、単独者ばかり 6 人とすれ違う。

テントの手続きを済ませ、ゆたり食事をしながら鮮明に浮かぶ景色の余韻に浸り、昨年実行できなかった北穂の池めぐりができ幸せな気分で就寝した。

9/30(晴、朝のうち強風) 南岳テント場 6:10-天狗原 7:30/8:15-横尾 11:10/11:40-上高地 14:05-帰路

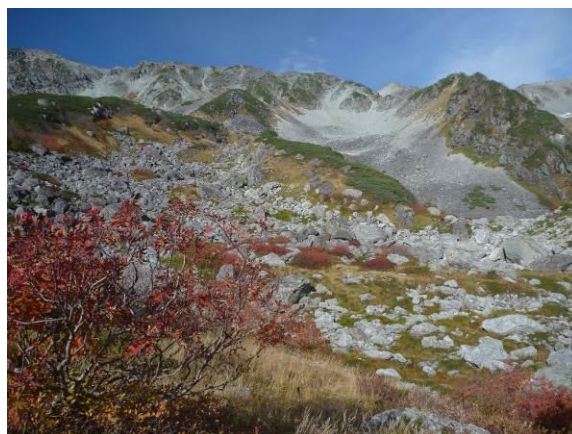


焼ける北穂高岳

め天狗原へと下る。紅葉した南岳のカールの先には、昨日辿ったルートが一目瞭然！台地にある池は、まだ見える。こんなにも存在感のある池だったんだと、今更のように思う。

強風の中、テントを撤収し、南岳を目指す。

南岳から槍ヶ岳への稜線を分けるまでは、耐風姿勢を取りながら強風と格闘！北アルプスの屋根から 360 度の大展望を瞬時見納



天狗原

強風から解放され、いかにも天狗原と名付けたい景色に満喫し、天狗池に到着する。そこにも三脚を据えてシャッターチャンスを待つ人、順番待ちで記念写真を撮る人で賑わっている。静寂な天狗池はいつ？



天狗池



ナナカマドと槍ヶ岳

槍ヶ岳の紅葉を振り返り、振り返り写真に収め上高地へと歩く。ザックは軽くなったものの、足は重い！ここが一番辛かったかも？軽装の人、登山者、沢山の人に出会った。皆それぞれ何かを求め歩いている？都会の人混みを歩いている心境！（めったに歩かないけど）三日間心に残る重い山行を楽しめた。